

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	環境厚生常任委員会	会議場所 第3委員会室	
		担当職員 山末	
日 時	平成31年1月7日(月曜日)	開 議	午後 3 時 30 分
		閉 議	午後 3 時 51 分
出席委員	◎平本 ○富谷 酒井 小川 齊藤 菱田 小島 馬場		
理事者 出席者			
事務局	片岡事務局長、山末主事		
傍聴者	市民 1名	報道関係者 0名	議員0名

会 議 の 概 要

1 開 議

2 申し送り事項について

<平本委員長>

これまで子どもの貧困や子どもの権利条例の策定等に取り組んできた。本日は第17期の環境厚生常任委員会への申し送り事項を整理したい。

<酒井委員>

子どもの権利条例についてだが、条例には議会基本条例のように定期的に見直しを行うということが明記されていないが、4年の任期のうちに一度は見直しをすることと、努力義務になっていることや政策提言書に書かれていることがどのように取り扱われているのかを見ていただきたいと思います。

<馬場委員>

プラスチックごみの現状について、総論については執行部と当委員会の間には乖離はないと思うが、その後の意思形成があまりにも強引であり、新聞報道が先に出て、我々の知らないところで話が進んでいるので、当委員会が意思形成をしっかりと図っていくような取り組みを着実に行っていただきたいと思います。

<平本委員長>

既に市民からレジ袋の関係で問い合わせがある。議論もない中であのような宣言をなぜ行ったのかという意見もあった。それについては、理念として市と議会が宣言したものであり、今後、どのように周知・啓発を行っていくのかということについては委員会でも当然議論していくと言っている。

<齊藤委員>

私も商店に行ったら、私たちの意見を聞かずに何をやっているのかというお叱りを受けた。しかし、大きな目標を立てて進めていくことが大事であり、亀岡市のイメージにもつながる。環境先進都市であるというイメージづくりの一環であり、決して悪いことではないので理解してほしい。次期においても理解を得ながら進めていただきたいと思います。

<小島委員>

子どもの権利条例は検証していかなければならない。プラスチックごみについても、実効性のあるように、利用者や業者との意思形成を図っていかなければならない。執行部と協議をしながら進めていっていただきたいと思う。また、わがまちトーク等で市民に周知していっていただきたいと思う。

<平本委員長>

利用者も事業者も困惑されていると聞いている。プラスチックごみゼロを目標として取り組むことには当委員会で異論はないと思うが、拙速に進めるとなかなか市民の理解が得られない。意思形成と合意形成に取り組む必要があると思う。

<酒井委員>

子どもの権利条例については、牧瀬先生が言われていたように、大学との連携等を行い、条例を見直す際に連携できるようにしておくということや、法制に詳しいOBに週3日程度だけでも来てもらうなどの方法を第17期の早い段階で検討し、条例を検証する際に慌てることのないようにしておいてほしいと思う。また、プラスチックごみについては、何を引き継ぐのかをもう少し言っておきたい。経緯としては、まず、原田准教授から話を聞いた。その段階では、今後、当委員会で条例等についてじっくり検討していくのかなということをもった程度であり、レジ袋の禁止までは思っていなかった。また、その後の担当課の説明では、プラスチックごみゼロ宣言の説明だけをされ、肝心の条例のページは飛ばしていた。そういうやり方で、その後に報道があったという流れを次期の委員にも理解しておいていただきたいと思う。質疑をしなければ条例のことは言わなかったと思う。条例のことを質疑しても何も決まっていないという答弁だった。宣言は市長と議長が共に行ったが、条例制定を共にやっという話ではなかったということもきちんと伝えておく必要があると思う。今後、進捗状況を積極的に担当課に聞いていくようにしてもらいたいと思う。また、病院から毎月いただく報告については引き継がなくてもよいと思う。

<齊藤委員>

ふるさとエナジー株式会社について、検証を進めていただきたい。

<富谷副委員長>

プラスチックごみの研究を進めていただきたい。

<小川委員>

子どもの権利条例については、予算の反映状況や取り組みの状況等を見てほしい。プラスチックごみについても条例等をしっかりと見てほしい。また、次期においてもテーマを設定して取り組みを進めてもらいたい。市立病院の毎月の報告は不要と考える。

<齊藤委員>

東本梅保育所の自然保育について、視察の実施も含めてよりよいものになるようにしてほしい。

<富谷副委員長>

次期の新たな委員で決めていただきたいと思う。

<平本委員長>

以上の内容を次期に引き継いでいく。我々が質疑をしなければ詳細がわからないという行政との歯車のずれがあるので、次期においても注意深く行政を監視いただきたい旨を申し送りたい。

4 その他

<富谷副委員長>
(あいさつ)

散会 ～15:51